

## 平成25年度岩手県農業研究センター試験研究成果書

区分	指導	題名	新播草地における播種翌年の一番草刈取前のエゾノギシギシに対する効果的な除草剤			
[要約] 新播草地での雑草対策として、播種翌春・牧草刈取前のチフェンスルフロンメチル（商品名：ハーモニー75DF水和剤）処理はエゾノギシギシ・ナズナに対して高い除草効果を示す。						
キーワード	新播草地	ギシギシ	畜産研究所			家畜飼養・飼料研究室

### 1 背景とねらい

県内の草地において春期における除草剤処理が牧草への薬害、収量性に及ぼす効果は明らかにされていないことから、強害雑草であるエゾノギシギシを対象に春の除草剤処理による効果を検討する。

### 2 成果の内容

- (1) 牧草播種翌年の一番草刈取前にチフェンスルフロンメチル（ハーモニー75DF水和剤）を1g/10a（希釈水量100L/10a）処理することで、エゾノギシギシを無処理区生草重量の1%程度に抑えることができる（図1）。
- (2) チフェンスルフロンメチルは一年生広葉雑草のナズナにも十分な効果が認められる（図1）。

### 3 成果活用上の留意事項

- (1) アシュラム（アージラン液剤）は300ml/10a（希釈水量100L/10a）以上でイネ科牧草に対する著しい薬害が確認され、牧草収量が半減する（図1）。
- (2) チフェンスルフロンメチルは1g/10a以下の薬量では実生以外のギシギシ類に効果が劣る場合がある。
- (3) 除草剤の使用については最新の「岩手県農作物病害虫・雑草防除指針」を遵守すること。

### 4 成果の活用方法等

- (1) 適用地帯又は対象者等  
草地造成と牧草生産に関わる指導者
- (2) 期待する活用効果  
雑草の抑制技術活用により、牧草の高い収量の確保と安定した生産が期待される。

### 5 当該事項に係る試験研究課題

(H25-05) 草地更新における除草剤処理等を活用した春期牧草播種技術の確立 [H25～27/県単]

### 6 研究担当者

山形広輔

### 7 参考資料・文献

- (1) 岩手県農林水産部「平成25年度 岩手県農作物病害虫・雑草防除指針」
- (2) 草地・飼料畑における強害雑草防除法の確立（岩手県平成5～7年度試験成績書）

### 8 試験成績の概要（具体的なデータ）

耕種概要 畜産研究所（標高250m）における試験成績（土壌：厚層腐植質黒ボク土）

- (1) 栽培草種・品種 オーチャードグラス・ポトマック
- (2) 施肥量（造成時） N-P-K=7-14-7 (kg/10a) …2012年8月16日施肥
- (3) 播種量 26 kg/10a…2012年9月7日播種
- (4) 施肥量 N-P-K=8-4-8 (kg/10a) …2013年4月16日施肥
- (5) 除草剤処理日及び前後の気象状況(\*: 処理日2013年4月23日) 観測地点：滝沢

月 日	4/19	20	21	22	*23	24	25	26	27	28	29
最高気温(°C)	7.4	10.6	2.9	13.0	16.3	17.9	16.1	9.2	12.5	13.3	18.5
最低気温(°C)	0.9	-0.6	-1.1	-2.7	-0.8	4.3	4.2	1.4	4.4	4.3	5.6
降水量(mm)	0	0	7.5	0	0	24.5	0	2.5	0	0	0

(6) 試験区の構成 (4m<sup>2</sup>/区、2 反復)

薬剤名	薬量(/10a)	水量(L/10a)	処理時の植生
無処理区		100	エゾノギンギシ 草丈 13.7 cm オーチャードグラス 草丈 14.6 cm
アージラン液剤	100ml		
	300ml		
	500ml		
ハーモニー75DF 水和剤	1g		

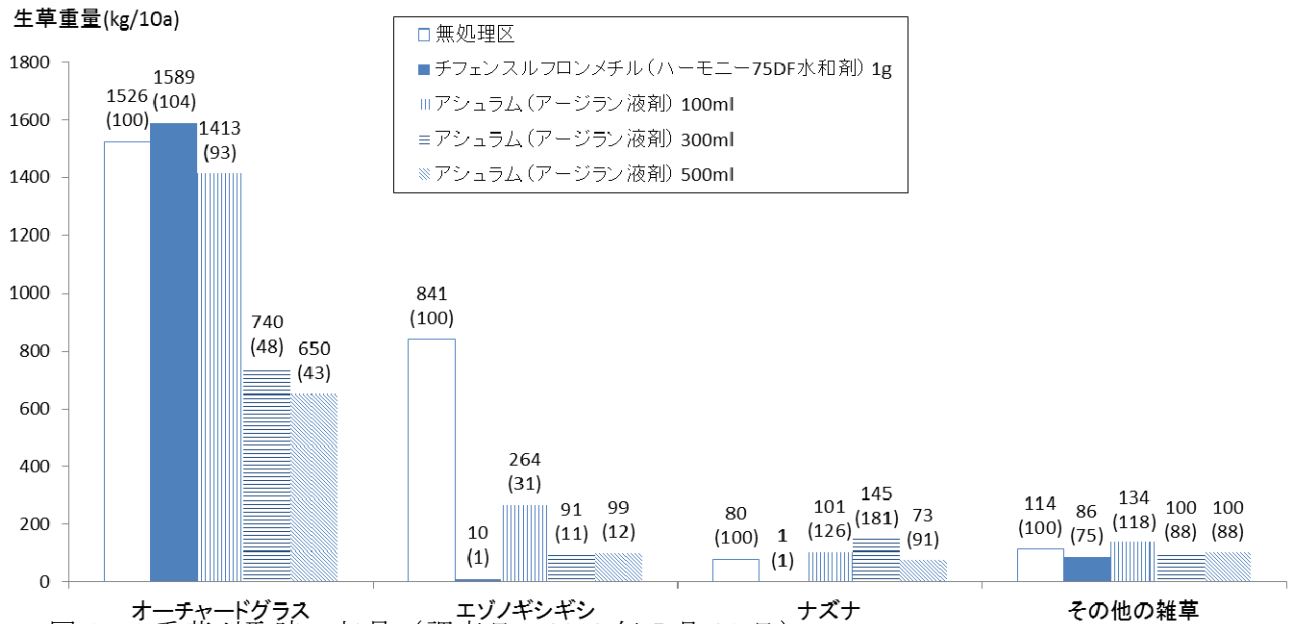


図1 1 番草刈取時の収量 (調査日: 2013 年 5 月 31 日)

\*収量下段 ( ) 内の数値は無処理区を 100 としたときの値。その他の雑草はヒメオドリコソウ、ハコベ、イタリアンライグラス、ヨモギ、スギナを示す。

(参考 1) 除草コストの比較

商品名	10a あたりの除草コスト	備考
アージラン液剤	376 円	使用量 100ml/10a
ハーモニー75DF 水和剤	309 円	使用量 1g/10a

\*農薬販売業者より聞き取りした平成 25 年度の小売価格にて試算

(参考 2)

